

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.21 ～

「株式会社飯塚製作所」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。

町長の見て・聞いて・話して

第21回の事業所訪問は、10月16日に株式会社飯塚製作所を訪問し、飯塚勇治社長にお話を伺いました。

株式会社飯塚製作所は、平成10年(1998年)、小鹿野町で精密機械器具部品の製造会社として創業し、平成17年(2005年)、西秩父商工会の助言を受け、現所在地に本社を設立されました。

創業当初からお客様より難題な要望を受けており、昼夜問わずの作業は常にあったとのこと。この仕事への熱量があるから今があると、しみじみと仰っていました。

精密機械部品の製造加工を手掛けているため、工場内は機械の加工精度維持のため、空調を整備し常に一定温度に維持されておりました。各NC自動旋盤にはオイルダクトを外付けしていることにより、床、壁へのオイル飛散がほぼないため、においや汚れを感じさせないクリーンな環境でした。

若手社員の定着率は高く、定着しているのは社長の社員への思いと期待が社員の志気を高めていること、そして、魅力ある職場環境と社員教育の手厚さによるものと

感じました。

当町の「オートバイによるまちおこし事業」のナンバープレート用のボルトは同



整備された工場内



ナンバープレート用のボルト



生産工程の説明を受ける森町長

社で考案されました。ボルトヘッド部分のシンボルマーク「OGANO」のロゴは若手社員の精巧な技術力によるものでした。

創業から20年。創業者としての苦勞を惜しまない誠実な人柄が成功へと導き、ものづくりへの熱意と信頼のもと、これからも社員と共に歩いていく、未来を見据えた企業であると感じました。

わが社の主力製品

当社の製品は、自動車・船舶・航空機・建設機械・医療機器・事務機・半導体製造設備・燃料電池等に利用する精密機械部品です。すべて国内の受注で、大手物流メーカーのコンベア部品や透析の医療機器など、多種多様な業界の製造加工を手掛けております。

ここに自信あり

一製品につき、材料供給から製品完成までの全加工工程を自動化し、研磨が不要なレベルまで旋盤加工で仕上げることができる高いプログラミングの技術力を有しています。また、技術の継承に力を入れ、生産体制の安定化を図ると共に、最新の輪郭形状測定器、画像寸法測定器等の各種測定器を導入し生産製品の品質向上を図っています。高品質・小ロット多品種・短納期対応等によりお客様の要望を実現しております。

飯塚社長(左)▶



会社概要

代表者 代表取締役 飯塚勇治
従業員数 10名
創業 1998年
所在地 小鹿野町小鹿野2381-1
電話 0494-75-0769